

県立病院跡地の概要について

会津若松市 企画調整課

1 概要

- ・面積 約 25,000 m²
- ・地目 宅地
- ・用途 第二種住居地域
- ・所在 会津若松市城前、徒之町



2 検討経過

- H29.3 市から県病院局へ、旧会津総合病院跡地の取得意向について回答
- H29.8 市政だより8月号において市民提案募集（242件、371施設の提案）
- H29.8 県立病院跡地利活用懇談会（委員6名・オブザーバー2名）。全5回開催
～11「県立病院跡地利活用の方向性に関する意見書」が市長へ提出
- H31.4 「県立病院跡地利活用基本構想」策定
 - ・子どもの遊び場・子育て支援機能をメインとした整備を検討していく。
- R1.5 市民との意見交換会。6月5日まで全6箇所で開催。総参加者数166名。
- R4.1 県病院局による汚染土壌の入替、水質調査の完了。
- R4.2 跡地に導入する機能のたたき台を作成。

3 基本構想で示した機能導入方針

県立病院跡地利活用においては、9つの機能について、下表のとおり区分し検討を進めていく。

また、持続的な都市経営の視点で見たまちづくりにおいては、「公共施設マネジメントの推進」が不可欠であることから、将来的な社会情勢、市民需要の変化を踏まえた公共施設再編の方針にも柔軟に対応できるよう、まずは、可変性を重視した、少ない投資で大きなサービスを生む土地利用を行っていく。さらに、将来の更なる利活用や機能の追加にも柔軟に対応していくよう調査・検討を進める。

メイン機能	○子どもの遊び場・子育て支援
サブ機能	○広場・緑地 ○映画・飲食・物販・サービス ○交通・情報の拠点
調査・検討機能	○スポーツ・武道・軽運動 ○展示・会議・イベント ○芸術・文化・学習
必要不可欠な機能	○人をひきつけるデザイン ○防災備蓄・避難場所



※利活用のテーマは「・・・会津の未来を担う こどもの笑顔があふれる こどもからおとなまで多世代で賑わう 元気を創造する・・・『みんなが自然に集う、魅力あふれる場』」

※子どもの遊び場・子育て支援機能をメインとし、本市の子育て環境の充実や本市の賑わいの創出に寄与する利活用を検討していく。

※本市の財政負担が最少となるような整備手法を検討。

※民間活力の導入検討。

4 導入機能のたたき台

機能	規模 (m ²)	内容	主な利用者
子どもの屋内遊び場機能	1,000	◆ 未就学児、小学生など年齢に合わせた遊び場など	子育て世代 未就学児、小学生
相談機能	200	◆ 子育てに関する気軽な相談	子育て世代
多目的スペース機能	600	◆ 情報発信コーナー、市民の企画展示コーナー (美術、絵画、書道など) ◆ 交流、イベントスペース (絵本の読みきかせ、ワークショップなど) ◆ 中高生の居場所、休憩スペース	子育て世代 未就学児 小学生 中高生 高齢者

機能	規模 (㎡)	内 容	主な利用者
防災機能	未定	◆ 備蓄倉庫、屋外トイレなど	市民
広場・緑地機能	未定	◆ マルシェ、イベント、キッチンカー ◆ ピクニック、憩いの場 ◆ 避難場所	市民
駐車場機能	未定	◆ 駐車場	市民
便益・収益機能 その他の機能	未定	◆ 上記機能と親和性があり、子育て支援、賑わいの創出やまちづくりにつながる機能を想定（飲食、物販、サービスなど）。 ※ <u>民間事業者から提案を求め、より良い機能を検討していく。</u>	市民

※機能はあくまでたたき台であり、今後、市民の皆様から意見を伺いながら、基本計画策定作業の中で整理していくため、検討状況により、機能や規模の変更の可能性がある。

※建物については面積総量を抑えるために可能な限り複合化を検討していく。

5 令和4年度の予定

R4.6～ 県立病院跡地民間活力導入可能性調査等業務委託

R5.3～ 県立病院跡地利活用基本計画（案）とりまとめ
パブリックコメント、タウンミーティングなど
県立病院跡地利活用基本計画の策定

【参 考】

一般的なスケジュール

年度	内 容	
R3	基本構想の精査 ・導入機能の検討 ・民間事業者との意見交換	
R4	基本計画の策定 (導入機能、整備手法、事業費、スケジュールの検討) ※民間活力導入可能性調査業務委託を予定	
R5 以降	【従来手法の場合】 ・基本設計	【PFI 手法等の場合】 ・事業者の募集、契約締結 ※PFI アドバイザリー業務委託を予定
	・実施設計 ・用地取得、発掘調査	・設計 ・用地取得、発掘調査
	・建設工事	・建設工事

※スケジュールは、現時点の想定であり、今後、基本計画の策定の中で検討していく。